

# 弥刀小学校 平成 31 年度教育方針

## ◆ 教育目標

「すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を」

み んなとつながり 学びあう子

と もだちと高めあい 自信がもてる子

しょう らい（将来）に向かってチャレンジする子

## ◆ 努力目標（7つの力を身につける）

- 友だちと楽しく遊ぶ力
- 相手の話を聴く力
- ひとの気持ちがわかる力
- 何事も最後までやりきる力
- 基礎的な学ぶ力
- 自分の考えを言葉で表す力
- やるべきことに立ち向かう力

## ◆ めざす教職員像

- ・ 子どものことを語り合える職員室  
「できない理由はさがさない」「まずはきょういく!」
- ・ 互いに磨き合い高め合う教職員集団
- ・ 協働体制による学校運営
- ・ 「健康」「時間」を大切にできる体制。「常識」も大切に！

## ◆ 基本姿勢と重点的な取り組み

### ● 基本姿勢

- ・ 互いの違いを理解し、認め合う学校づくり
- ・ 「チャイルド ファースト」子どものことを第一に考えるのが当たり前の風土を。
- ・ 「チーム弥刀」・・・ 報・連・相の徹底。組織的な対応を。
- ・ 「主体的・対話的で深い学び」をうむ授業の追求。かつ、子どもの「わかった!」「できた!」の声をうみだす授業を。
- ・ 子どもが居場所と感じられるような学校づくり。  
一人ひとりが大切にされていると実感できる場としての学校。毎日来ることが楽しいと思える学校に！

## ● 重点的な取り組み

### 1. 落ち着いて学習に取り組む習慣・規律・環境づくり

- ① まず、目の前の子どもを理解し、個々の力を伸ばすとともに、集団としての学びあいの中で考えを深め、より高めあうことのできる集団づくりを根底に置いた学習を確立する。
- ② 「授業態度」、「ノートづくり」、「家庭学習」など、基本的な学習習慣・学習規律の確立。(基礎・基本の定着、朝学・放課後学習の充実)
- ③ 保護者との連携・協力による家庭での学習習慣の確立をめざす。読書習慣も確立する。
- ④ 清潔で整理整頓された教室環境や、子どもの学びが見える学校掲示を心掛ける。

### 2. 「ともに学び、ともに育つ」集団づくり（一人ひとりを大切にした人権教育の推進）

- ① 子どもの後ろにある生活背景等を把握し、情報共有する中で、気になる子どもに全教員が関わる体制づくりを進める。
- ② 個々の違いを理解し、認め合う特別支援教育を推進する。愛着障害やユニバーサルデザインの推進等への学びあい、共通理解・対応に努める。
- ③ 児童が役割意識や自己有用感を感じられるような活動を充実させる。また「ひと」「社会」「地域」との関わりを意識し、つながりあおうとする態度を育成するような実践を深める。

### 3. 子どもをやる気にさせる授業づくり（教師力、授業力の向上）

- ① 児童が学ぶことを楽しいと感じ、「わかる」、「できる」と実感することができる授業づくりを日々心がける。
- ② 体験学習や課題解決学習を通して、児童の探究心を深め、社会や地域とのつながりを意識できる授業を工夫する。自分の未来に向けて夢をもち、様々なことにチャレンジできる「ひと」としての育成に努める。
- ③ 個々の児童の理解度やニーズ等に合わせて指導方法や教材を工夫する。児童が自主的に学び方や課題を選ぶなどする中で、学習への意欲を喚起し、達成感が味わえるよう努める。
- ④ 誰もが「わかる」「わからない」と言える集団づくりを行う。自分の考えを発表することはもちろん、友だちの意見をきき、そこからどう考えが深まったかを表現できる力をつける。表現の機会を増加するとともに表現方法の多様化にも努める。
- ⑤ 知識の習得のみならず「思考力」、「判断力」、「表現力」の育成を重視した教育活動を行う中で、学んだことを実生活で活用できる力、友だちと学び合い協力してものごとを成し遂げる力などを育成する。

### 4. 地域や保護者に信頼される学校づくり（学力向上を核とした地域連携の推進）

- ① 弥刀中学校ブロックにおける小中一貫教育を進めるうえで、9年間を見通した指導を行う。共通のカリキュラムづくりを行う中で、子どもの確かな学力と、教師力の向上を図る。
- ② 児童の学力向上に向けて、保護者・教職員・地域住民の協働体制づくりを推進する。
- ③ 近隣大学との連携・地域人材等人的交流を進める。